

施設評価シート（一般）

028

（平成20年度事業）

施設名	備前焼伝統産業会館	問合先	担当課(室)	商工観光課
所在地	備前市伊部1657番地7	職・氏名	副参事 山台智子	
		電話	0869-64-1832	
建物建設費	330,500千円	財源	国県等補助金	100,000千円
		市債・一般財源等	230,500千円	建設年月
			耐用年数	50年

根拠法令等の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	名称	備前市備前焼伝統産業会館設置条例	
総合計画上の位置付け	基本目標	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	基本施策
	施策	01	観光	事務事業名

対象	（この施設運営によりサービスを受けるのは誰か？） 観光客、市民		
目的	（この施設運営によってどのような状態を目指しているのか？） 由緒ある備前焼の伝統的な技術技法の継承及び歴史的資料の収集保存などを行い、備前焼の需要の拡大を図る		
施設内容規模料金体系	施設内容	規模	料金体系
	鉄筋コンクリート造 3階建	延床面積	
	1階：東備広域観光情報センター 貸店舗（2）		300,000円/1月 300,000円/1月、150,000円/1月
	2階：備前焼展示室 会議室		2,500円/半日、夜間 1,500円/1時間
	3階：総合研修室、技術研修室		12,500円/半日、夜間 4,000円～5,000円/1時間
管理運営方法	<input checked="" type="radio"/> 指定管理者制度導入 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> すべて直営 （指定管理者名 又は 一部委託の内容） 協同組合 備前焼陶友会		
類似施設の状況	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし <input type="checkbox"/> 本市所管 <input type="checkbox"/> 近隣市町、民間その他 （施設名及び施設の概要）		

経費	項目		平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度実績		単位
	人件費	正規職員	0.05人	410	0.01人	75	0.04人	347	人/千円
	臨時職員		0		0		0	人/千円	
費	指定管理料		810		810		810	千円	
	維持補修費		904		494		1,095	千円	
	物件費		9		9		68	千円	
	その他経費							千円	
	減価償却費			4,149		4,149		4,149	千円
	合計		6,282		5,537		6,469	千円	
財源	特定財源	使用料						千円	
	一般財源	その他						千円	
指定管理者の利用料金収入			(763,039)		(1,014,945)		(769,159)	千円	
年間利用者数			32,864		30,653		30,310	人	
利用者1人当たりコスト（一般財源）			191		181		213	円	
受益者負担率			99.2%		99.5%		99.2%	%	

稼働実績	平成20年度														(単位：日、人)	
	種別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
	開館日数	24	24	26	25	27	23	26	24	24	23	23	25	294		
	利用者数	2,176	3,614	2,077	1,647	2,216	2,407	5,026	4,734	1,175	1,436	1,521	2,281	30,310		

施設の受当性	社会・経済情勢の変化等により、施設のニーズが薄れていないか？	
	<input checked="" type="radio"/> 薄れていない <input type="radio"/> 薄れている	判断理由 全国的にも知名度の高い備前焼の観光拠点として認知されており、備前焼振興には欠かせないものである。備前焼に関する情報発信の基地として、また観光拠点としての必要性が非常に高く、設置以来、その必要性に変化はない。
	そもそも市が設置・運営すべき施設か？	
	<input checked="" type="radio"/> 設置すべきである <input type="radio"/> 必ずしも設置する必要はない	判断理由 理想としては、組合が独立経営するのが望ましいが、備前焼の売上げ減少に伴い組合の財政状況も厳しい現状では、困難な情勢である。
施設を廃止した場合の市民生活への影響は？		
<input checked="" type="radio"/> 影響が大きい <input type="radio"/> 影響はさほどない	判断理由 観光資源として全国に誇れる備前焼が極端に衰退するようなことがあれば、市の沈滞ムードに著しい影響を及ぼし、市民生活の活気が失われるのは必定である。	

施設の効率性	施設の利用状況は順調か？	
	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 順調でない	判断理由 長年続いている厳しい社会経済情勢に追い討ちをかけるような、平成20年10月以降の世界経済の悪化により、観光客そのものの減少が続いているため、会館の利用状況も減少傾向にある。しかし、全国からの観光案内問い合わせや備前焼まつりの様子などから、備前焼に対する関心は非常に高いものがあると感じている。
	受益者負担は適正か？	
	<input checked="" type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担は求められない	判断理由 施設使用料の減免が非常に大きく、施設運営に大きな影を落としている。受益者に応分の負担していただくよう検討していくべきである。
類似施設との統合可能性はあるか？		
<input type="radio"/> 統合は可能 <input checked="" type="radio"/> 統合は不可能	判断理由 備前焼振興施策の基盤として、また、東備広域観光推進センターとしての役割は非常に高く他に類を見ないため、統合は不可能である。	
管理運営に係るコストを削減する余地はあるか？		
<input type="radio"/> 削減の余地はある <input checked="" type="radio"/> 削減の余地はほとんどない	判断理由 指定管理料に本来含まれるべき人件費を、全て備前焼陶友会に委ねている現状から、これ以上の削減は考えられない。むしろ、指定管理料のUPを図るべきである。	

平成21年度の状況及び管理運営の改善案	平成20年秋以降の世界経済の悪化により、備前焼の売り上げが減少し、指定管理者である協同組合備前焼陶友会の財政状況が非常に厳しい状況にある。これまで、維持管理費用の大部分を陶友会が負担してきたが、今後については非常に困難な状況になりつつある。今後は、施設収入の大きな割合を占める、施設の使用料等について、適正な運用が出来るよう減免の見直しを行い、施設の健全な管理運用が図れるよう努めたい。
---------------------	---

施設修繕・大規模改修費用（今後5年間：平成22年度から平成26年度）						
毎年定期的に必要となる修繕費	内容	金額(千円)		今後5年間に必要となる大規模改修費	内容	金額(千円)
		バス専用駐車場の整備(H22)	400			

判定	<input type="checkbox"/> 廃止・閉鎖が可能 <input type="checkbox"/> 類似施設との統合が可能 <input type="checkbox"/> 民間又は地域等への譲渡が可能 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度の導入が可能 <input type="checkbox"/> 事務等一部委託が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 現在の管理運営形態が望ましい	判定理由 適正な指定管理料の支払いの必要性を感じる程、経費面での組合への負担依存度が高い。備前焼陶友会は指定管理者としての使命も誠実かつ適正に行っており、市としての費用対効果は非常に高い。事業の目的から言っても、他の事業者の参入は考えにくく、現管理運営が望ましい。
----	---	---